

<12号（波及事故）② キュービクル内のヘビ接触による波及> nite

事故発生電気設備：高圧負荷開閉器（LBS）

原因分類：（地絡・短絡の原因）他物接触／鳥獣接触

（波及に至った原因）区分開閉器不動作/開閉器不良(事故で故障)

被害内容：供給支障電力：〇〇kW、供給支障時間：〇時間〇分、

供給支障軒数：〇軒

詳報XMLテンプレート番号：202512_02

<事故概要>

受電キュービクル内の高圧負荷開閉器（LBS）1次側にヘビが引っかかり地絡が発生した。保護範囲内であったが地絡継電器が動作せず高圧気中負荷開閉器（PAS）が開放されなかったため、波及事故に至った。（受電電圧：6600V）

<事故原因>

- ・高圧受電設備内にヘビが侵入し、LBS1次側に接触したことで短絡が発生した。
- ・キュービクル周辺に雑草が繁茂しており小動物が集まりやすく、キュービクル内の侵入口をふさぐ絶縁パテが雨等により劣化していた。
- ・前回年次点検時は異常なしであったが、DGR内部の基板の動作が不安定になっているために、事故時に地絡を検出できなかったと考えられる。DGRは設置から20年経過していたため、メーカーの更新推奨年を超過していた。

<事業者及び関係者が行った防止対策>

- ・キュービクル内部の配管の小動物の侵入口を塞ぐ。（絶縁パテ埋め、通気口へのメッシュ設置等）
- ・小動物の侵入防止をした部分について、定期点検により劣化有無の確認、補修を実施する。
- ・キュービクル周辺の除草の実施及び、小動物の嫌う薬剤を周辺に散布する。
- ・PAS、高圧地絡方向継電器、引込ケーブルの取替を実施する。
- ・定期点検を実施する際に、キュービクル内の小動物侵入口がないか確認する。

